

★漢方談義★

「心」と「小腸」

太田 順康

「心」と「小腸」が臓腑陰陽の関係にあり、対になっています。何故そうなのか？ わかりませんが。

「心」と「心臓」は「肝」と違って大体同じようです。

「心」は、蓮の花の蕾のようであるといっています。

ただ血液を送り出すだけの働きだけではないようです。

いわゆる「こころ」の働きも「心」がやっています。

君主の官、神明出す。

諸臓は心の支配を受けます。生命活動の主幹で、すべての精神意識、思惟は「心」の大事な働きです。

精神のうち神の入れ物です。精の入れ物は「腎」です。

勿論血を生ずと云って血流を調節しています。

「心」は陽気を生む所です。

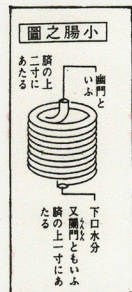
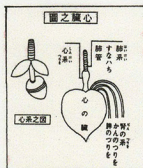
其の陽気が皮膚から抜け出すのが汗です。汗を心の液とも云っています。夏の暑さに順応出来なかったり、苦みの摂取の過不足や、酸っぱい物の摂りすぎで「心」は弱ると云われています。また発汗過多、心煩（胸騒ぎ）憂愁、恐懼、悲傷などの精神異常も「心」をよわせます。くよくよしないことです。

「心」が弱り鬱状態になりやすい人の多くは、過去にこだわりの、未来に不安を感じる人が多いようです。あの時あんな事をしたので、今体調が悪くなった。とか、明日検査の結果がでるけど悪かったらどうしよう。とか思い煩う人が多いようです。済んだことや、起きるかどうかわからない事を悩んでも仕方がないことで、今どうするかが大切です。

「心」の力がよわると悲しみ、強すぎると笑い喜び過ぎるようになります。

腑の「小腸」ですが、その働きは現代医学の小腸の機能とは随分違います。

「小腸」は受盛の官化物（分化したもの）出ず。上



すこやか教室 山歩き

曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<10月の予定>

6日(金) 13日(金) 20日(金) 27日(金)

あつという間に秋でしたね。紅葉が始まり、椎の実も落ち始めました。虫の音もひときわ高くなっています。でも黒い雲に覆われたり、暑い日もあって、不安定なお天気です。太田先生の「漢方談義」にあるように、「心」が安定し元気であるような生活、そして社会であってほしいですね。実りの秋に感謝しつつ、歩きましょう。

§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範、岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師)
今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

2日(月) 16日(月) 23日(月)

§ 10月の休診日

9日(月・祭日) 12日(木)

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。

§ 特定健康診査・すこやか健診(岐阜市)

特定健診：10月31日(火)まで

特定健康診査券、保険証をご持参ください。

負担額 800円

すこやか検診：9月1日(金)～11月30日(木)

ぎふすこやか健診受診券、後期高齢者医療被保険者証をご持参ください。

負担額 500円

口は胃の下口で、下口は水分にあたり、胃で消化された精粕を受けて大小便に分け、大腸・膀胱に渡す働きです。

小腸の持つ消化吸収の働きは、東洋医学では「胃」の働きとされています。前回の胆嚢の胆汁が脂肪の吸収を助ける働きも「胃」の働きだそうで(つづく)